



▲ペットボトルのキャップを使ってシンボルアートを作る

11月20日、中央体育館で「第41回子どもカーニバル」が開催され、小学生301人が参加しました。今年、「仲間と協力して元気に遊ぼう」をテーマに、会場に設置された「たわらもと忍者村」で子どもたちは忍者になった気分、元気にゲームを楽しみました。午後からは仲間と協力して、ペットボトルのキャップ約3万個を使ってシンボルアートを完成させました。

11月
20

仲間と楽しい一日を過ごしました 第41回子どもカーニバル



▲北小学校の体育館で行われた心に響く「群読発表」

11月11日、北小学校で奈良県国語教育研究会秋季研究大会が開催され、県内各地から約180人の教員が参加されました。大会では公開授業の後、全校児童による群読発表があり、午後からは、児童文学作家の石井睦美さんの記念講演がありました。また、18日には、東小学校、田原本中学校で図画工作・美術教育研究大会が、21日には、北中学校で書写教育研究大会が開催されました。

11月
11

学校の教育力向上を目指して 町立小・中学校で研究大会が開催されました



▲県立医科大学の赤井先生が講演

11月26日、町民ホールで「田原本町CKD（慢性腎臓病）啓発【健康増進モデル事業】講演会」が開催され、約80人が参加されました。CKDとはどんな病気か、糖尿病の怖さや定期的な健康診査などによる早期発見・予防することの大切さなどを〇×クイズを交えながら講演されました。参加者からは「健診の必要性がわかった」などの声がありました。

11月
26

糖尿病について考える機会に 田原本町CKD（慢性腎臓病）啓発講演会



▲小松原会長から答申書を受け取る森町長

11月18日、「第4回田原本町基本構想審議会」が開催され、町の総合計画の柱で今後10年間のまちづくりの指針となる「田原本町基本構想（案）」が答申されました。将来像を「子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと」とした基本構想（案）は12月議会で議決され、4月から新「総合計画」によるまちづくりがスタートする予定です。

11月
18

10年先の目指すべき町の未来に向けて 田原本町基本構想（案）が答申されました

11月
26～

とれたて野菜を求め賑わう

田原本農業祭&オータムフェア



▲とれたて新鮮野菜の直売

11月26～27日にかけて、地産地消の拡大と農業の振興を目指して、川東営農経済センターで「農業祭」が開かれました。

会場では、農産物の販売や模擬店の出店などが行われました。また、ポン菓子や味間いもを使った「やよい汁」が無料で振る舞われました。特に新鮮な地元野菜の直売は人気で、会場はたくさんの人で賑わいました。

11月
26

地域の防災力を高めよう

三笠自治会防火防災訓練



▲水消火器による消火訓練を体験

11月26日、三笠自治会主催の防火防災訓練が行われました。これは、万一に備えて、地域の防災力を高めようと開催されました。

磯城消防署員から心肺蘇生法や消火器の使用方法などについて学び、毛布などを使った簡易担架の作り方や水消火器による消火訓練を体験するなど、参加者一人ひとりが真剣に取り組み、自主防災の意識を高めました。

12月
5

ものづくりの魅力と素晴らしさを知る

平野小学校で「熟練した技能者による体験教室」



▲熟練した建築板金の技術を教わる児童たち

12月5日、ものづくりの魅力を知る機会とするを目的に、平野小学校で「熟練した技能者による体験教室」が行われました。

児童たちは、「建築大工」では木製レターラック作り、「建築板金」では家の家紋飾り作り、「フラワー装飾」ではフラワーアレンジメント作りそれぞれ挑戦。技能者のアドバイスを聞きながら作成し、最後には見事な作品が完成しました。

12月
8

元気いっぱい、きねを振る

町内の各幼稚園でもちつき



▲もちつきを楽しむ園児たち（田原本幼稚園）

お正月を迎える伝統行事であるもちつきを園児たちに体験してもらおうと、町内の各幼稚園でもちつきが行われました。

園児たちは、先生に手伝ってもらいながら子ども用のきねを振り上げ、「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて元気いっぱいにもちをつきました。自分たちでついたお餅は格別。きな粉やしょうゆにつけておいしくいただきました。